

自治労連共済は助け合いの制度

大いに魅力を語り広げよう



2月21日に「2026春の組織・共済拡大交流集会」を大阪グリーン会館で開催。新年度の新規採用者の組合と共済への加入や職場活動・組織の強化に向けて、これまでの取り組みの成果や教訓を共有して、春の月間の目標や取り組みの具体化について交流し、意思統一を図りました。午前は「共済学校」午後は「組織集会」として、少人数に分かれて、学習と交流・ワークショップ形式で「対話と学びあい」を実践しながらすすめました。

共済学校

共済加入はストリートに「助け合い精神」に直結

共済学校は、松浦章さん（大阪損保革新懇世話人）に「民間保険をめぐる動向と自主共済の役割」をテーマに講演いただきました。松浦さんは「利益至上主義に陥りがちな民間の保険だが、それでも常に『さまざまなリスクをカバーし、生命と暮らしを守る制度』という原点を問いかけることで、この事業にかかわるものの責務としてやらなければならない。

その一方で共済は、その事業の精神がそのまま日常の活動と直結している。そこには何の遠慮もない。共済に加入することは、ストリートに『二人は万人のた



講師の松浦章さん

組織集会

仲間づくりや組織拡大・組合活動ー話したいテーマで8つのグループトーク

組織集会では「組合活動や仲間づくりの悩みなど、課題を共有す



関心のあるテーマで集まり、笑顔で話しあうグループがほとんどでした

め、万人は一人のため」というまさに「助け合いの精神」に直結する」とし、私たちが職場での組合活動として、共済を拡大する意義と役割について強調されました。また、損害保険業界の不祥事に対して「健全な産業の再生」をめざす運動や、アメリカの圧力を背景にした自主共済攻撃に対する粘り強いたたかいを紹介され、「私たちの事業も『市場原理主義』とは絶対に相容れない。この立場を鮮明にし、共済事業を大きく発展させましょう」と呼びかけました。



最後に8つのグループで話しあった内容と結論を全体で発表して共有しました

る」「それぞれの関心のある課題にもとづいて、みんなで話しあう」「チャレンジしたいことを見つける」ことを目的に、OST（オープンスペーステクノロジー）の手法を使ってすすめられました。参加者全員が、安心して参加できる・話ができる場をつくるため

に、グラントルールの確認や、2人組で互いが「ヒーローインタビュー」をするウォーミングアップから始めて、OSTの説明とすすめ方を共有し、「いま、あなたが話したいこと」を募りました。9つのテーマが出され、提案者のもとへ関心のあるメンバーが集

まり、グループトークをスタート。1つのテーマは話したい人が集まらなかったため、提案者が他のグループに合流し、8グループで約80分間の話しあいになりました。初めてOSTの手法を活用したグループトークで、大いに盛り上がりました。

テーマ

どうやって、増やす人を増やすの？

⇒組合員自身が組合に入っている意義をどう感じているか自覚してもらう。身近な要求、小さな要求から自分たちの要求へ…。

結論

要求の運動の達成感を一人ひとりが感じられる運動を！

テーマ

組合に入ってもらったあと、組合離れをどう止めるか。いろんな人に組合事務所に集まってもらうには？

⇒組合事務所でイベントをつづけ若い人が集まるようになっていく。事務所を掃除した。お弁当食べながら悩みや雑談をしたい。加入後1～2年目の人に声をかける。

結論

集まる機会をつくる。地道につながっていくしかない。前向きな話をすることが大事。

2つのグループトークの報告

この春も仲間づくりをみんなですすめよう



福島第一原発事故から15年。最新の情勢と市民運動の課題について学びあいました。集会後、JR京橋駅前で行われた宣伝活動も行われました

なくせ原発！再稼働反対！

3月7日 クレオ大阪東



映画「黒川の女たち」の監督の松原文枝さんが戦時の性暴力の実相について「なかったことにはできない」と題した講演などが行われました。400人が参加しました

2026 国民春闘ピクニック

2026 国際女性デー 大阪集会

3月6日 ドーンセンター

今月のキーワード

2026国際女性デー

1908年～1909年にパンと参政権を要求したアメリカ女性のたたかいから世界に広がり、3月8日に行われる平和と女性解放をめざす国際的な行事。イタリアでこの時期咲き始めるミモザ（花言葉は「感謝」）を男性が女性に贈って日頃の感謝の気持ちを伝えることで、ミモザが国際女性デーのシンボルです。今年は1975年にアイスランド全女性の90%が仕事や家事を一緒に休みジェンダー平等を前進させた「女性の休日」運動と合わせて全国で取り組みました。

今月のキーワード

共済活動は組合活動そのもの

2月21日の共済学校で松浦さんが示した共済を取り組む3つの意義「①組合の福利厚生活動を強め充実し、社会保障制度改善のたたかいをすすめる力になる。②組合員としての自覚が高まり、組合への信頼と団結力も強化される。③共済活動は組合の財政活動を強めることにも貢献する」。共済活動は、労働組合の基本的な役割である組合員の生活を守る活動、福利厚生活動のひとつ、ですから組合活動そのものです。